

## 令和 4 年度 優良図書の推奨結果について

### 1 候補図書の選定

- ・ 県認定「県子ども読書アドバイザー」、図書館司書（図書館職員）へ推薦を依頼
- ・ 募集の結果、54 件・49 冊の推薦あり
- ・ 除外基準を除いた 46 冊を候補図書として諮問

### 2 審議の方法

- ・ 各分科会で 9～10 冊、委員 1 人につき 5～6 冊を担当
- ・ 1 冊を 3 人で試読、各委員が優良推奨候補図書選定基準等を元に評価
- ・ 各委員の評価結果を踏まえ、各分科会において推奨図書を決定

### 3 審議の結果

第 2 部会第 1～第 5 分科会における審議の結果、39 冊を推奨として答申

幼児以上	小学校 低学年以上	小学校 中学年以上	小学校 高学年以上	中学生以上	高校生以上
11 冊	3 冊	8 冊	6 冊	8 冊	3 冊

### 4 広報等

#### (1) 推奨図書の広報

- ・ 県HP、県民だよりへの掲載
- ・ 紹介用ポスター等を作成し、書店、図書館へ配布
- ・ 紹介用チラシを県内小中高等学校等へ配布
- ・ 県SNS（LINE、Twitter、Facebook）の活用
- ・ 青少年教育施設での展示

#### (2) 試読図書のプレゼント

- ・ 推奨図書の試読本を県HP、県民だより等で募集し、希望者多数の場合は、抽選の上、プレゼント
- ・ 保留となった試読図書は県立施設（青少年教育施設等）の図書コーナー等に配架

## 優良推奨候補図書の審議に係る意見・要望

---

### 1 候補図書の選定（主な意見）

- ・今回の選定方法でよい（問題ない、特になし）
- ・以前よりもバラエティに富んだ選定がされているように感じた。
- ・候補図書が新しく出版された図書に限定されている理由について、県子ども読書アドバイザーから質問があった。アドバイザーの中には読み継がれている良書が少し古かったりするだけの理由で読まれなくなることを危惧しているようだ。
- ・出版から1年などの期間が設けられ、やみくもに多くの推薦者から多数の本を候補をあげてもらいより「本に多く触れられる立場の人」に選んでもらう点はよいと思った。
- ・選書の趣旨が不明なもの、理解していないものがあり、より一層丁寧な説明が必要。
- ・推薦者視点と委員の意見が異なった場合に、候補としてあげてもらった本を推奨しないことになるのは気になる。

### 2 審議方法（主な意見）

- ・問題ない。適切である
- ・1冊につき3人が試読することで1人あたりの冊数は増えたが、年1回のことであり、期間も十分にあったのでこの方法でよい。
- ・すべての本を読んでから審議にのぞみたいが、冊数や審議時間の負荷を考えると難しい。試読者が2人から3人になったので、精神的な負荷は減り、意見も言いやすくなった。
- ・読んでいない本については、会議の中でも委ねるしかなく、意見が割れた場合にどうするか悩ましい。しかし、全員がすべての本を読むのも時間的に難しい。
- ・1段階目の1冊3名の試読委員の意思表示と2段階目の5名の委員の話し合いはスムーズに行われたと思った。
- ・読んでいない本の審議の際に話題に入れず困った。その場で見せてもらうことはできたが、意見を言うことはできなかった。分科会に割り当てられた本をすべて事前に読んでおくことが必要だと思った。
- ・委員1人が推奨反対とすると、推奨しないという結果になったが、少々1人の責任が重いと感じた。推奨可否の判断は多数決方式でもよいのではないか。
- ・推奨の基準がやや曖昧と感じた。難しいところではあるが、委員の多数決にするか、最終的には分科会長の判断にするか、ある程度明確にすることも一手だと思った。
- ・推奨可否の判断は難しかった。推奨対象ごと冊数の目安があれば審議しやすいと感じた。
- ・各委員の意見が聞けて活発な意見交換ができていた。文章だけでなく私見を踏まえた発言は参考になることが多々ある。

- ・コロナ禍でしかたないことではあるが、各委員と会えたのが分科会の時が初めてであったので、コミュニケーションが図れず的確な審議ができたか不安であった。

### 3 その他

- ・試読、審議会の時期が1番忙しい時期と重なって苦勞した。
- ・可能であれば、一人当たりの試読数を4冊程度に減らすか、試読の期間を延ばしてほしい。
- ・試読本は返却することになっているが、書き込みしながら読めるので、問題なければ試読本をそのままもらえるとありがたい。
- ・推奨図書をいかに県民に伝えるか、どのような工夫をして周知をしているか知りたい。
- ・推奨しなかった本についても何らかの形で活かしてもらいたい。
- ・推奨図書が小学校や中学校で使っているタブレットで閲覧できる環境があればいいと思った。

## 令和4年度静岡県優良推奨図書 広報実績

### 1 ポスター、チラシの配布

- ・ 県内書店（県書店商業組合）、図書館へポスターを配布（12月）
- ・ 県内各小・中・高等学校へ広報チラシを配布（1月）

(広報ポスター)



(読書啓発チラシ)



(広報チラシ)



### 2 県民だより 1月号

配布数 96.2万部（約150万世帯）



### 3 県公式 SNS による広報

- ・ LINE（「静岡県」登録者数 43,454人） 1/5 配信
- ・ Twitter（「静岡県庁わかものがかり」登録者数 15,607人） 1/5 配信
- ・ Facebook（「いいねがあるある静岡県。」登録者数 15,523人） 1/6 配信

#### 4 試読図書のプレゼント企画

試読図書のプレゼント企画を実施。県民だより、SNS、社会教育課 HP にて広報を行った。応募総数 391 件

(プレゼント企画に寄せられた声)

「私は小さい頃から本が大好きで、今は息子と寝る前に本を読む時間がとても楽しみになっています。この絵本（あかいてぶくろ）も息子と一緒に読みたいなと思いました。」(30代・女性)

「小学生と中学生の娘を持つ母です。前回も応募し、本をいただきました。非常によろこんでおりました。」(30代・女性)

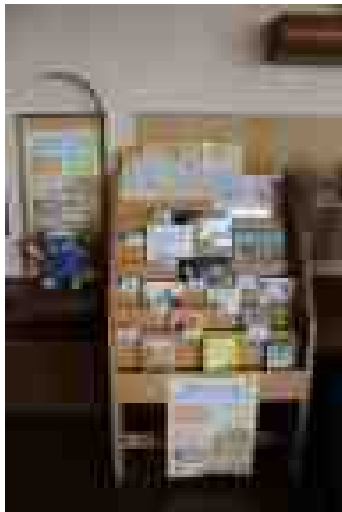
「優良推奨図書で紹介される本を楽しみにしています」(50代・女性)

「紹介されている本を孫に読んであげたいと思いました」(70代・男性)

など

#### 5 その他

- (1) 青少年教育施設での展示、寄贈  
(県立朝霧野外活動センター)



- (2) ホームページのリニューアル

これまでの HP は情報量が多く、利用者にわかりにくい側面があったため、アイコンを活用した情報整理など、リニューアルを行った。

HP アドレス

<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/school/kyoiku/shakaikyoiku/seishonen/1003950/1032052.html>

